

# そらこめ通信 No.99 2021年6月23日発行

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

コロナ過の折、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日常の行動に対して逐一制限がかかることで、かなりのストレスなど抱えながら生活されていることとお察し申し上げます。

北海道では6月20日まで続いた国の緊急事態宣言がようやく解除になりましたが、医療の逼迫があり気を抜くことができない状況が続いています。加えてデルタ株の広がりも気になる。ただ、ワクチン接種のスピードが徐々に上がってきているようで、個人的にはもうしばらくの辛抱かなと思っております。最近思うのですが日本人って本当に真面目ですね。真面目という表現が果たして適切なかどうか判りませんが、大概の日本人は政府の言いつけをちゃんと守っていて大きな暴動も起きない。社会性、協調性を大切にしてお国柄なのでしょう。自分個々の権利より地域社会の一員であるという事に重きをおく意識が他の国(特に欧米)の人たちに比べて格段に強いように感じます。これには、良い面と悪い面の両方があると思いますが、気が付かぬうちに誤った方向に行かぬよう互いに目配りをする事も大事かもしれません。

今年も田植えなど春の一連の作業が無事終わりました。5月は天候不順で気温もさほど上がらず気をもみましたが、6月には平年並みの暖かさが戻りホッとしております。このまま、順調に推移してほしいものです。コロナの影響で外食関連の需要が減り、米の在庫が膨らんだことで昨年より米価が下がり気味ですが、これは消費者の方々にとっては嬉しい話ですね(笑)。昨年10月に公表された最終の作況指数は北空知では107(9月公表では106で+1上がった)となり、見事に豊作と評される出来秋でした。食味数値も良い出来で、多くの皆様に食べて頂きたいと願っております。

コロナ過にあってなかなか自由が利かない時間が続きますが、皆様におかれましてはどうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。



立ち並ぶ育苗ハウス(4月13日)



育苗ポットを並べる前の状況



植えられたばかりのダリア(4月13日)



播種済みの育苗ポットをハウス内に並べる作業～育苗ポットはレール上の貨車で自動搬送します(4月17日)



育苗ポットを並べる作業(4月17日)



育苗ポットに播種する機械



休憩時間 憩いのひと時



話題は尽きず…



ほ場で休む白鳥の群れ(4月17日)



田植え作業開始(5月19日)



快調に進む田植え作業



苗の補充



社屋前庭の桜が満開(5月19日)

沼田町の本社の建物は、以前はグループ企業の事務所として使われていたものです。今は、弊社の本社としての機能のほか玄米の冷蔵や精米作業場として使われています。相当年季が入った建物ですが愛着がある建物のひとつです。建物の前庭には老木ですが数本の桜の木があり、春になると毎年可憐な花を咲かせます。木全体に花を咲かせる力はなく一部の枝に花が咲く感じ。でも、まだ咲いていますよ、ここに生きていますよって主張しているようでとても愛おしい気がします。

インターネットで美味しいお米♪ (株)空知こめ工房 ホームページ <http://www.sorachi-kome.jp/>